

第3回 意見交換会 要旨

開催日時	11月 1日(木) 7時00～9時00		
市町村名	穂高町	グループ名	3
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

8時まで穂高町助役を交えフリートーク、その後参加者同士の意見交換を行った。

: この道路の話は商工会から出てきて、行政・会議などで了承され、進められていると理解しているが、そのあたりの経過は？

町: よくわからない。もともと穂高町にも高速道路が欲しいという声はあり、自治体と商工会の中でも会議所が中心となって誘致活動を行った。昨年6月の説明会の時点では、国営公園(鳥川～大町)を結ぶ道路が欲しいとの要望が強かった。企業誘致などでも道路整備は重要。

: 工場は海外に出ている時代だ。当初高速道路の誘致を始めた頃とは時代が変わってきているのに、商工会は何を考えているのか。

町: 小さな企業でも、中国に工場をつくりたいという希望があるのは聞いている。が、中国へ行ったから成功するというものではない。

: この道路は穂高町にとって負担が大きいと町長が言ったが、それはどういうことか。

町: 町長は議会答弁で2度ほど言った。三麓は、観光地や学者村などの別荘地としての開発に、町でも力を入れてきた地域だ。

: この道は町にとって本当にいい道路になると思うか。

町: 当然いいと思って誘致している。

: 行政は過大見込みの数値を出し、道路を造るための資料を作成している。それで失敗している道路もあり、北海道では道路計画自体が潰れている。

町: そういう道路はある。

: 今もこの道路推進の姿勢は変わらないのか。

町: それは、基本計画に載せたので簡単には変わらない。

: 住民にこの道路計画を知らされておらず、住民意見が反映されていないのが問題だ。住民意見を聞いて素晴らしい土地利用計画を策定しておきながら、それに反するような道路を、町はなぜ推進するのか。町の開発の方向性はどうなっているのか。

町: 道路計画の説明は議会にさえして来ない例もある。土地利用計画とは矛盾していることもある。

: 土地利用計画に反するような計画であれば、町としては土地利用計画を守るべく県に申し入れをするべきではないか。

町: 町独自で新しい道路を造ることはなかなかできない。県から話があれば、近隣町村との関係もあり、やらないわけにはいかない。

第3回 意見交換会 要旨

開催日時	11月 1日(木) 7時00～9時00		
市町村名	穂高町	グループ名	3
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

: 「住民参加のまちづくり」には大賛成だが、公共団体が公共の目的で行う場合は適用外で町長との協議が必要だとある。民間の開発行為についてはこういう規制をしておきながら、この道路のようなこれだけ大きな開発について話がないとは、お話にならない。国営公園の計画も“自然との共生”と掲げ、時代と共に変化している。道路を造ることを国営公園建設事務所として頼んだ経過もないと聞く。国に対して、穂高町としてはこうしたいという話をすべきだ。

町: 国営公園が自然との共生を理念に掲げていることは承知しており、以前からルートや工法(半地下・幅員を狭くするなど)については議論している。山麓を簡単に潰すような道路は問題だと思っている。

: 穂高町が言い出しっぺで、南安曇郡の議員大会でこの道路推進の決議をしたと聞いているが、町も絡んでいるのか。

町: うそう議会が提案して同盟会をつくった。議会と町では提案についてすりあわせはしていない。議会の中でも反対意見もあった。

: 道路をつくるかどうかを先にもっとちゃんと考えるべきだ。

: 先ほどから「議論している」というが、どこでの議論を言っているのか。

町: 全員協議会のこと。

: 法的な場なのか、任意なのか。

町: 法的ではない。フリートキングのようなものだ。

: 穂高町でのアンケートはご存知ですね。

町: 細かい数字は忘れちゃったけれど、知ってはいる。

: 穂高住民の意見が道路計画に反映されているとはいえないのではないのか。

: 町の開発のビジョンは何か。まちづくりの条例の趣旨が反映されていないのではないのか。

町: まあなかなか全部の住民の意見を聞くのは難しいが、総合計画、土地利用計画などでは話を聞いている。

: 町の「こうありたい」という姿勢を示したもの(総合計画・土地利用計画)を無しにするような計画はおかしい。土地利用計画の目的である乱開発の防止、優良農地の保全、景観・環境への保全などが守られない。

町: 土地利用と高規格道路の関係は難しい。

: 懇談会自体が普通の住民が参加しにくい仕組みになっている。

: 出たってはぐらかされてまともな答えが返ってこない。まともに機能しているとはいえない。

町: ごみの懇談会はいっぱいだった。直接関心があることは大勢参加している。

第3回 意見交換会 要旨

開催日時	11月 1日(木) 7時00～9時00		
市町村名	穂高町	グループ名	3
メンバー	(:司会、 :記録者)		

:道のことについて町長と懇談したことがある。町づくりを考えて道づくりをしてほしい。山麓につくるとわさび田への湧水への影響も心配だ。別荘中未陰は道路が通るなら住みたくないと言っている。別荘から町の収入だって随分ある。町はもっと町が潤うように考えてほしい。町はそういうことについてどう考えているのか。

町:町長も負担が高いというだけでそれ以上の見解は示していない。

:オリンピック道路ができて、商店街は影響を受けた。道の一つ作った時いろいろなものへの影響を考えたとき、これ以上道路が必要か。

町:交通量の把握は難しい。あんなに川沿いを通るようになるとは思わなかった。スムーズに道路ができればいいが、合意づくりは難しい。

:もう一本新しい道路が必要か。

町:穂高にはそれほど渋滞はないと思う。

県:(塩の道懇談会から現在までの経緯を簡単に説明)

:それから随分状況が変わっている。大分前の計画であり、これからは時代は変わる。様々な問題を抱え、人々の意識を変わってきているのに、見直すつもりはないのか。

町:おたくの言うこともよくわかる。国営公園だって当初考えていたものとは全然変わってしまった。いろいろな考え方を変えてかなければならない。

:将来人口の予測(30年後、40年後)はどうなっているのか。これからはもっと長期的に時代変化を読んでいく必要がある。日本の人口は頭打ちで、人口が減ったら車も減るだろう。その時に道路というのはどういう役割を果たすのか。

:30年後の人口は近々考えなければならぬと思っている。穂高の場合は多少は増えていくと考えている。水道のこともあるので急速に始めたい。

:町は調査区間の返上はしないのか。この意見交換会もゼロに戻して考えるということで説明があった。本当にゼロに戻して考えるべきだ。

町:調査区間の取消しを求めるつもりはない。

:これだけ住民の声があっても白紙撤回ということはできないのか。

県:調査区間には法的な拘束力はない。それをやったから事業に着手するということではない。

:こういう計画があるからということではなく、重大な問題があれば見直すという姿勢がほしい。

町:基本計画は5年ごとだから、もちろん随時見直していく。

ここで助役退席

第3回 意見交換会 要旨

開催日時	11月 1日(木) 7時00～9時00		
市町村名	穂高町	グループ名	3
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

: 中部縦貫道がどうなるか。道路公団も赤字のところが多い。今の40m幅の規模で本当につくれるのか。一説によると現在の道路を利用するという話もある。それとアクセスすることが主要な目的の一つであるこの道路の必要性も、当然変わってくる。松本に通っている労働者にここの道路の必要性を聞いたところ、「そりゃいらねえせ、穂高は山並みがきれいなところなんだから」という答。わさびをやっている人にも聞いたが、やはり道路はいらないという。毎日通っているひとでさえこう言う。混む個所はだいたい決まっているので、個別に対応すればすむのではないか。きれいな水と風景という穂高の良さをアピールしていくことが大事。これだけお金をかけて道路をつくる必要はない。

: 情勢が変わってきているのに、国土交通省は土建屋のいいなり。

: 高速道路の関係で借金は30兆にもなるときく。地方道路整備では、新たな道路ではなくバイパスをつくれれば渋滞などの問題は解決する。一般市民はとくにそんなことは感じている。もうそういう時代じゃないということを認識してほしい。

: 道路問題を町づくりの観点からもっと考えるべき。車ありきのまちづくりではなく、車に乗れない人が暮らしやすい町づくりを考えるべきだ。例えば医療の問題でも、小谷から信大病院に行きやすい道をつくるよりも、必要なところに必要な医療機関をつくることを考えればいい。駅周辺に公共の駐車場をつくることで、大糸線の利用が増え、渋滞が緩和されている。今回の道のことを総合的にまちづくりを考えるいいきっかけとして捉え、そういうこともこのグループの意見としてあげていきたい。

: 道路のメリットとしてあげていることについて、道路以外の解決策を私たちからの提案としてあげられたらいい。

: 反対ばかりでなく、解決案を入れた意見をまとめたい。

: この地域をどうしたらいいかという観点から考えていければいい。

: 小谷では医療への不安が大きいという。

: 各地域で大きい病院の出先の機能をもった診療所をつくり、きちんと医療体制を整えれば、小さな診療所でも安心してかかることができる。軽度のうちに対応すれば医療費も下がる。

: 病気にならない町づくりも視野にいれて考えたい。

: その方が道路をつくるよりもはるかに安い。

: 道路のことが終わった後でも、そういうことを検討できるグループとして発展していければいい。

今日の資料についての質問だが、ルート検討の資料は年度ごとに煮詰まってきたということか？

県：これはあくまでも内部の検討資料。

第3回 意見交換会 要旨

開催日時	11月 1日(木) 7時00～9時00		
市町村名	穂高町	グループ名	3
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

: Aルートで費用対効果が高いのは、中部縦貫道とのアクセスに加え、国営公園を結ぶことが効果として数えられているからだと思うのだが、これらは穂高町の住民へのメリットとはいえない。少なくともこのグループの提言としては、穂高町にとってはAは好もしくははないと言っているのではないか。(額く人多い)

: 公園の入園者見込みの200万という数字だけ一人歩きしている。

: ハウステンボスは最高入場者数が160万/年でありながら、潰れかけている。

: 国の予測が過大で、だんだん下方修正をしている。今日の資料で、松本空港と姫川港の貨物量について、平成12年まではそろそろ数字が出るのではないか。資料の提供を求める。

: 中部縦貫道はもう計画着手しているのか。

県: 松本インターから波田までは都市計画決定はされている。

: この意見交換会がどういう風に利用されるのか不安だ。やはり計画ゼロには戻ってない。

県: 今後11月中にグループの意見を集約してもらおう。12月に市町村ごとに全体会を行い、意見をまとめて知事に上げる。その後もっと大きな地方別の懇談会を開くことも考えている。意見交換会の意見は尊厳するが、延長100kmにもおよぶ道路だけに交通の流れなども考えなければならず、個別の対応は難しい。何らかの形でみなさんの意見は反映していくつもりでいる。

: 地域のネットワークというが、穂高で遊んでも、泊まる場所は山麓線を飛んで行って大町温泉郷。もっといい道ができればもっといいところへ行って泊まるだけのことだ。これのどこが活性化なのか。道路が整備されていない当時の感覚でやっているから納得できない。

: 次回はどのような町づくりをしていったらいいか、第四次総合計画などを踏まえて話をしてはどうか。大北地域のグループとの交流もできればいい。

: 穂高町の実態を反映していく必要もあるではないか。ここに出ている人の意見はもちろんだが、参加していない人の声を拾っていく姿勢も大切。

: それは我々がやるというよりは、本来、町がやるべきことだ。

: 次回までに穂高町内でどんな声があるか聞いて持ち寄ろう。観光客のこえも役に立つ。

次回は11月13日(火)7時から9時 町役場会議室にて